

平成28年8月 全国百貨店売上高概況

平成28年9月21日

I. 概況

1. 売上高総額	4,092億円余
2. 前年同月比	-6.0% (店舗数調整後/6か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	81社 236店 (平成28年7月対比±0店)
4. 総店舗面積	5,966,662㎡ (前年同月比:-1.2%)
5. 総従業員数	75,558人 (前年同月比:-2.5%)
6. 3か月移動平均値	1-3月 -1.6%、2-4月 -2.2%、3-5月 -3.9%、 (店舗数調整後) 4-6月 -4.1%、5-7月 -2.8%、6-8月 -2.9%

[参考] 平成27年8月の売上高増減率は2.7% (店舗数調整後)

【特徴】

8月の売上高は今年一番の落ち込みとなる6.0%減で6か月連続のマイナス。

端境期における顧客への動機付けが弱かったことに加え、東西での不安定な天候が入店客数へ影響したことと休日1日減なども重なり、非常に厳しい商況に終わった。

内訳として、主力の国内市場売上(シェア96.9%)が5.2%減、購入単価下落が続くインバウンド(シェア3.1%)も26.6%減と共に振るわず。規模別では全ての店舗規模が前年に届かなかった。また、地区別では北海道を除く17地区(全18地区中)がマイナスとなり、10都市計が5.9%減、10都市以外計が6.2%減に終わるなど、不調は全分野に拡がる。構造的な課題を抱える中、インバウンドや個人消費の低迷も長期化しており急回復は厳しい状況にある。

商品別では、回復の兆しが見えない婦人服(-10.9%)をはじめ、紳士服(-9.6%)、子供服(-12.7%)が揃って大きく数字を落とし、衣料品が10.7%減と昨年3月(消費税増税の反動減)以来の2桁減となった。なお、厳しい商況の中でも、化粧品が2.5%増と17か月連続で前年を確保し、地区別でも全18地区中14地区でプラスを記録している。

今後は、売上シェアが最大となる第4四半期(10月~)を迎えるにあたり、第3四半期(7月~9月)の検証を踏まえて、各社が主力顧客への動機付け施策を確実に行うことが急務となる。

【要因】

(1) 天候： 気象庁発表「8月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇北日本では台風が相次いで接近・上陸し、前線や湿った気流の影響も加わり月降水量はかなり多かった。特に北日本太平洋側では、8月として統計開始以来1位の多雨となった。また、太平洋高気圧に覆われて、ほぼ全国的に月間日照時間が多く、強い日射を受けて全国的に月平均気温は高かった。

(2) 営業日数増減 30.6日(前年同月比 ±0日)

(3) 土・日・祝日の合計 9日(" -1日/土・日曜各1日減、祝日1日増)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数136店舗)

①増加した：18店、②変化なし：22店、③減少した：96店

(5) 8月歳時記(夏休み、お盆)の売上(同上/有効回答数99店舗)

①増加した：15店、②変化なし：41店、③減少した：43店

全国百貨店 売上高速報 2016年08月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	409,238,713	100.0	-6.0 (-6.2)
10都市	277,002,730	67.7	-5.9
札幌	10,974,218	2.7	-4.7
仙台	5,343,014	1.3	-7.2
東京	105,293,569	25.7	-5.9
横浜	24,404,492	6.0	-6.0
名古屋	25,555,135	6.2	-5.8
京都	17,441,153	4.3	-5.0
大阪	52,868,657	12.9	-7.2
神戸	11,191,758	2.7	-6.3
広島	9,363,218	2.3	-3.8
福岡	14,567,516	3.6	-3.7
10都市以外の地区	132,235,983	32.3	-6.2 (-6.7)
北海道	2,454,343	0.6	8.2
東北	6,660,793	1.6	-7.5 (-8.3)
関東	57,373,790	14.0	-8.2 (-9.3)
中部	10,101,016	2.5	-6.9
近畿	19,268,531	4.7	-3.9
中国	9,510,105	2.3	-6.6
四国	6,365,153	1.6	-6.9
九州	20,502,252	5.0	-2.8

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	409,238,713	100.0	-6.0 (-6.2)
紳士服・洋品	20,163,518	4.9	-9.6 (-9.7)
婦人服・洋品	72,401,311	17.7	-10.9 (-11.1)
子供服・洋品	8,083,231	2.0	-12.7 (-12.9)
その他衣料品	9,947,844	2.4	-9.7 (-10.1)
衣 料 品	110,595,904	27.0	-10.7 (-10.9)
身のまわり品	53,410,075	13.1	-7.9 (-8.0)
化粧品	33,561,148	8.2	2.5 (2.4)
美術・宝飾・貴金属	23,847,391	5.8	-10.7 (-10.7)
その他雑貨	17,844,105	4.4	-4.6 (-5.0)
雑 貨	75,252,644	18.4	-3.7 (-3.9)
家 具	5,357,831	1.3	-2.4 (-2.5)
家 電	1,472,287	0.4	28.3 (28.3)
その他家庭用品	13,194,697	3.2	-8.5 (-8.7)
家 庭 用 品	20,024,815	4.9	-4.9 (-5.1)
生 鮮 食 品	24,328,147	5.9	-4.7 (-5.0)
菓 子	35,636,637	8.7	-2.2 (-2.3)
惣 菜	27,826,336	6.8	-2.8 (-2.9)
その他食料品	32,367,397	7.9	-3.4 (-3.6)
食 料 品	120,158,517	29.4	-3.2 (-3.4)
食 堂 喫 茶	15,071,561	3.7	-7.8 (-8.2)
サ ー ビ ス	5,469,634	1.3	7.7 (7.3)
そ の 他	9,255,563	2.3	3.8 (3.7)
商 品 券	9,468,406	2.3	-8.0 (-8.1)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

1. 10都市売上動向	-5.9% (6か月連続マイナス)
2. 10都市以外の地区売上動向	-6.2% (店舗数調整後/10か月連続マイナス)

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-5.9	-4.0	6か月連続マイナス
札幌	-4.7	-0.1	2か月ぶりマイナス
仙台	-7.2	-0.1	6か月連続マイナス
東京	-5.9	-1.5	2か月ぶりマイナス
横浜	-6.0	-0.4	8か月連続マイナス
名古屋	-5.8	-0.4	8か月連続マイナス
京都	-5.0	-0.2	5か月連続マイナス
大阪	-7.2	-0.9	8か月連続マイナス
神戸	-6.3	-0.2	2か月ぶりマイナス
広島	-3.8	-0.1	10か月連続マイナス
福岡	-3.7	-0.1	2か月ぶりマイナス
10都市以外の地区	-6.2	-2.0	10か月連続マイナス
北海道	8.2	0.0	2か月連続プラス*
東北	-7.5	-0.1	10か月連続マイナス*
関東	-8.2	-1.2	15か月連続マイナス
中部	-6.9	-0.2	6か月連続マイナス
近畿	-3.9	-0.2	2か月ぶりマイナス
中国	-6.6	-0.2	2か月ぶりマイナス*
四国	-6.9	-0.1	6か月連続マイナス
九州	-2.8	-0.1	3か月ぶりマイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、6月以来2か月ぶりに全品目がマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が17か月連続、家電が2か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-6.0	—	6か月連続マイナス
紳士服・洋品	-9.6	-0.5	2か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-10.9	-2.0	10か月連続マイナス
子供服・洋品	-12.7	-0.3	4か月連続マイナス
その他衣料品	-9.7	-0.2	10か月連続マイナス
衣料品	-10.7	-3.0	10か月連続マイナス
身のまわり品	-7.9	-1.0	2か月ぶりマイナス
化粧品	2.5	0.2	17か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-10.7	-0.7	6か月連続マイナス*
その他雑貨	-4.6	-0.2	2か月ぶりマイナス*
雑貨	-3.7	-0.7	2か月ぶりマイナス
家具	-2.4	0.0	6か月連続マイナス
家電	28.3	0.1	2か月連続プラス
その他家庭用品	-8.5	-0.3	5か月連続マイナス
家庭用品	-4.9	-0.2	8か月連続マイナス
生鮮食品	-4.7	-0.3	29か月連続マイナス*
菓子	-2.2	-0.2	3か月ぶりマイナス*
惣菜	-2.8	-0.2	3か月ぶりマイナス*
その他食料品	-3.4	-0.3	6か月連続マイナス*
食料品	-3.2	-0.9	6か月連続マイナス
食堂喫茶	-7.8	-0.3	10か月連続マイナス
サービス	7.7	0.1	2か月連続プラス
その他	3.8	0.1	2か月連続プラス
商品券	-8.0	-0.2	66か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>